

平成26年度 第2回健康づくり推進協議会

1	審議会名	健康づくり推進協議会
2	日 時	平成27年1月21日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで
3	会 場	穂高健康支援センター 採血室ほか
4	出席者	武井委員、伊藤委員、石田委員、山本委員、深澤委員、石川委員、青柳委員、平倉委員、熊井委員、鶴見委員、花岡委員、小林委員、望月委員(欠席 中村委員、)
5	市側出席者	宮下部長、宮下課長、高橋課長補佐、飯田係長、上條係長、渡邊保健師、上条保健師、小林保健師、岩原管理栄養士、大池歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年1月21日

協 議 事 項 等

1	会議の概要	
1	開 会	
2	あいさつ	
3	協議事項	
	(1) 歯科口腔保健条例について(事務局より説明)	
	(2) 健康推進課の職員配置について(事務局より説明)	
	本庁開所と平成27年度健康推進課職員配置について	
	質疑応答	
(委員)	歯科口腔保健条例について、歯科医師会として今後何か行いますか。	
(委員)	歯科口腔部会で今年行動指針を決定していきます。歯科医師会としては市民への周知として、出張出前講座を行います。	
(委員)	条例8条に事業者の責務が書かれてあるが、これだけで事業所で検診を行っていただけるのでしょうか。	
(事務局)	事業所では、歯科検診はなかなか実施されていないと聞いている。取り組みを始めたばかりであり、今後事業所への啓発や実施協力について行っていこうと考えています	
(委員)	保健センターに職員は普段いないのですか。	
(事務局)	市職員の常駐はしません。しかし、明科は複合施設で社協の方が常駐しています。三郷は敷地内に支所があります。豊科は別団体が入ります。堀金も社協の方が常駐しており無人にはなりません。	
(委員)	職員が常駐しないことで、清掃が行われず老朽化が進むことが気になります。	
(事務局)	清掃については、業者を依頼し行うことを予定しております。	
(委員)	母子手帳の発行が2か所になると妊婦の方が不便になると思います。	
(事務局)	保健師が直接妊婦の方へ説明等を行いたいので、2か所としました。	
(委員)	市内は広く車の生活がメインですが、車を利用されていない方もいます。その方達が母子手帳を取りに行くのが大変になると思います。利便性に欠けるのではないのでしょうか。再度検討していただけないでしょうか。	
(事務局)	検討させていただきます。	

(3) 平成27年度保健事業計画について（事務局より説明）

- ①母子保健事業について説明。
- ②成人保健事業について説明。
- ③健康づくり事業について説明
- ④感染症予防について説明。
- ⑤地域医療体制整備について説明

質疑応答

(委員) KDBシステムを利用して糖尿病治療者への治療支援は、個人情報保護に該当しませんか。

(事務局) 市の個人情報保護条例の範囲内で利用しているため問題ないと考えています。

(委員) 個人情報保護法では、事前に個人の同意を得ないと見られないことになっています。事前に同意を得ていなければ問題になる。医療機関で同意を得ていれば問題ないと思いますが。

(委員) 医療機関へはKDBシステムの情報は来ていないので、同意を医療機関で得ることは出来ません。

(委員) 統計データとして使用するなら問題ないです。しかし個人情報として使用することは、事前の同意が必要であり、同意がなければ大きな問題だと思います。

(委員) この会議で結論を出すことは難しいと思うので、今後検討をお願いします。

(委員) 危険ドラッグの危険性の啓発について市としてどう進めていますか。

(事務局) 市として特別取り組んでいることはありません。ポスターの掲示や講演会の周知に努めています。

(委員) 全国的に問題になっているので、検討項目ではないでしょうか。

(事務局) 今後県と相談して対応していきたいと思います。

(委員) 成人保健の目標に各種健診者の増加が記載されていますが、どの程度成果があったのか教えてください。

(事務局) がん検診は、検診が終了していないため途中経過ですが、乳がん検診の受診希望者は昨年度に比べて増加しています。

(事務局) 特定健診は、新聞・ラジオでの広告、電話での個別勧奨を行い、受診率が伸びています。26年度は受診率が41～42%くらいになるのではないかと思います

(委員) 今後さらに受診率を上げるために、どんな方法を考えているのか教えてください。毎年同じ方法で行っていても、受診率は1～2%程度しか上がらないのではないかと思います。

(委員) どんな方法が良いか、お考えはありますか。

(委員) 検診希望調査のはがきを利用して、検診を希望しない理由についてアンケートを取ってはどうか。医療機関に継続受診しているため健診を受けないという声を多数聞いています。その方たちは健診を受けているので、受診率に入れてはどうか。ぜひ受診率を上げるために色々な手段をぜひとっていただきたい。

(委員) 生坂村では、40・50代の受診率が低いので、そこにターゲットを絞り、40・50代の受診料を無料にし、時間帯を夕方にしたと聞きました。参考にしてみてもどうか

(事務局) 市では節目検診として、40・50歳の方に対して平成25年から受診料を無料にしました。しかし、無料というだけでは受診に結びついていません。夕方の時間帯については、医師会の先生方のご理解がいただければ実施することも可能なので、今後医師会と協議をしていこうと考えています。

(委員) 歯科検診が新規で開始になるので、積極的に受診勧奨をしてください。
(事務局) 広報・無線の周知では、検診の申込み者数が少ないが、個別通知を行うと反響がありましたので、検診を受けて欲しい年代には個別通知を考えていきたいと思います。

(4) その他（事務局より説明）

データヘルス計画を策定するに至る経過や計画の活用について説明

質疑応答

(委員) データヘルス計画はどう活用するのですか。

(事務局) KDBシステムでは、医療・健診・介護の情報が市町村ごとに分かり、自治体と比較ができます。安曇野市の健康課題が分かり、優先的に何に取り組むのかこれを基に考えていけます。市は脳血管疾患が多く、将来糖尿病性腎症の増加が推測されます。保健指導やホスピタリティアプローチをどの方々に行うのか計画に盛り込んでいきます。

(委員) 個人に対して保健指導を行いますか。

(事務局) 最終的には、個人への保健指導がベースになります。どこにターゲットを絞り個人への保健指導を行うのか、1年に何人の方へ保健指導を行うのかになります。

(委員) 27年から開始になるのですか

(事務局) 総論は出来上がっています。来年度は保健指導をどの方に何人行うかなど各論を作成します。現在市の行っている保健指導の進め方と大差はないと思います。

(委員) 保健指導を受ける方への説明はされますか。

(事務局) 保健指導対象者の方から断られることがあると思います。その方の意志は尊重したいと思いますが、なぜ、保健指導の対象となったのかについては説明していきたいと考えています。

(委員) KDBシステムはどこが運用していますか

(事務局) 国保中央会が運営しています。長野県国保連合会が長野県の自治体のデータを集めています。

(委員) ここに集まるデータは国保の方のみですか

(事務局) そうです。

(委員) 国保に加入と脱会を繰り返している人の紐付けは出来ていますか。

(事務局) 国保に加入していた時のみのデータだけになります。

(委員) マイナンバー制との関連性はありますか

(事務局) 詳細は不明です。

(委員) 今後、市町村運営する国保を都道府県に移管する法案が提出されると聞いています。都道府県に移管された場合、分布金を各市町村に配分する際にデータベースを活用するのではないかと聞いていますがどうでしょうか

(事務局) そのように聞いていますが、詳細については情報が入ってきていません。

(事務局) 実際には保険料が市町村一律にならないと聞いています。またどのデー

タで比較するか不明ですが、努力した自治体は優遇すると聞いています。

4 閉 会